

かいぎろく 会 議 録

かいぎめいしょう 会議名称	だい きさいわいくくみんかいぎ だい かいせんもんぶかい ちいき く ぶかい 第5期幸区区民会議 第3回専門部会「地域で暮らしやすいまち部会」
にち じ 日 時	へいせい ねん がつ にち かよう ごご じ ふん ごご じ ふん 平成26年12月16日（火）午後6時30分～午後8時00分
かい じょう 会 場	さいわいくやくしよ かい だい かいぎしつ 幸区役所3階 第4会議室
しゅつせきしゃ 出席者	<p>●区民会議委員（五十音順）</p> <p>いとうよしみちいん おのすぐるいん かみやおさむいん さとうれいぞういん たかはしのぞみいん なりかわしんいち 伊藤善通委員、小野偉委員、神谷修委員、佐藤例藏委員、高橋希委員、成川慎一 いん ぶかいちよう にしもとまるどにあいん ふじいてるみいん まついせつこいん ふくぶかいちよう 委員（部会長）、西本マルドニア委員、藤井照美委員、松井節子委員（副部会長）、 むらたせいこいん 村田清子委員</p> <p>●事務局</p> <p>さいわいくやくしよ すいしんぶきかくか いまむらけんじかちよう かとうたけしかりちよう すずきふみあき 幸区役所まちづくり推進部企画課 今村健二課長、加藤剛史係長、鈴木文祥 しよくいん やまだゆりなしよくいん 職員、山田侑里奈職員</p> <p>こうれい しょうがいこくろいしやしえんがかり おおしろけいこかりちよう 高齢・障害課高齢者支援係 大城敬子係長</p> <p>かぶ けいかくぎじゆつけんきゆうしよ あべ あきら (株) 計画技術研究所 阿部 正</p>
けつせきしゃ 欠席者	あおきはるひこいん ならばやしてるえいいん 青木晴彦委員、楢林照江委員
ほうちようしゃ 傍聴者	ひと 0人
はいふしりよう 配布資料	<p>●議事次第</p> <p>●資料1 「地域力」で暮らしやすいまち部会」調査審議スケジュール（案）</p> <p>●資料2 いままでの専門部会における審議の流れ</p> <p>●資料3 地域包括ケアシステムを考える</p> <p>●資料4 審議テーマに関する考え方（案）</p> <p>●資料5 現状課題を把握するための調査について</p> <p>●資料6 「第5期幸区区民会議」スケジュール（案）</p> <p>●その他1 第5期幸区区民会議第2回専門部会（B部会）摘録</p> <p>●その他2 第5期幸区区民会議委員・参与名簿</p> <p>●関係資料1 （仮称）川崎市町内会・自治会の活動の活性化に関する条例骨子 （案）についての意見募集</p> <p>●関係資料2 町内会・自治会の「見守り活動」に関するアンケート集計結果 （第4期区民会議専門部会「みんなで見守りたい」で実施した アンケート）</p> <p>●関係資料3 川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン、第6期かわさきいきい き長寿プラン（高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）、「第4次 かわさきノーマライゼーションプラン」（障害者計画・障害福祉 けいかく あん かん くみんせつめいかい かいさい ちいきほうかけあしすてむすいしん 計画）の案に関する区民説明会の開催（地域包括ケアシステム推進 びじよんなど かん くみんせつめいかいあんない ビジョン等に関する区民説明会案内</p>

<p>議 題</p>	<p>1 今後の取組の方向性の整理について</p> <p>2 現状課題の把握について</p> <p>3 今後のスケジュールについて</p>
<p>決定事項</p>	<p>1 今後の取組の方向性の整理について</p> <ul style="list-style-type: none"> 2つの取組の方向性は、相互に関連性がある。今後、現状課題の把握と並行して、引き続き方向性の整理について検討を行う。 <p>2 現状課題の把握について</p> <ul style="list-style-type: none"> 見守りや加入促進の取組について、他都市等の成功事例を継続調査する。 町内会・自治会、子ども会、地域包括支援センター等を対象に現状課題を把握するためのヒアリング調査を行う。 ヒアリングは、老人クラブは佐藤委員、子ども関係は藤井委員を中心に調整し、参加できる委員全員が出席する。 <p>3 今後のスケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 次回部会は平成27年1月27日（火）18：30からとする。
<p>会議の内容 及び 主な発言</p>	<p>1 今後の取組の方向性の整理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ●資料1、2、3、4について事務局が説明した。 高齢者・障害者に関する取組は地域包括ケアシステムに集約されると思うが、本部会では子どもも対象にしている。 →高齢者人口がどんどん増加していくので、本市ではまずは高齢者・障害者を対象として、その後子どもを対象にしていくといった流れになると思う。 (事務局) 地域包括ケアシステムの必要性は分かるが、歳入が減少し、町内会や民生委員など予算もない中で、どうやって効率的に構築していくのか。 →財政状況はかなり厳しい状況である。扶助費などが大きな財政負担になっている。市は、市長の意見も伺いながら効率的な行政運営を進めていく必要がある。市民の力は欠かせない。(事務局) 介護保険制度改正の趣旨としては、費用を抑制し、地域で支え合うということなので、町内会・自治会とのつながりをなるべく深めることは重要である。 地域包括支援センター設立時に訪問したが、職員が2名ほどで、資料提供の場となっており、これで何ができるのかと思った。いかに費用をかけずに地域の活動で支えていくかということだと思う。 地域が主体にならないと、地域包括ケアシステムは構築できないと思う。 平均寿命より、健康寿命が大切ではないか。医療などに世話になって長生きするというのではなく、暮らしの質を高めることが重要である。 誰かに何かをやらせてもらおうという高齢者が増えている。介護される期間は短い

- ・ほど良い。介護されないように、自分自身の体をコントロールすることが重要。
- ・高齢になったことを理由に、町内会を脱退しようとする人がいる。そういった人に対しては、高齢になったときこそ町内会を中心とした地域のつながりが必要になると説明している。突然の事態から誰かの手助けが必要となったときなど、気付かれないリスクが高くなると思う。
- ・町内会加入者に対しては、手厚く見守りができるようにしても良いと思う。

2 現状課題の把握について

- 資料5について事務局が説明した。

【把握内容】

- ・地域包括ケアシステム、町内会・自治会に関する成功事例を把握したい。
- ・紹介された横浜市青葉区の事例はあまり進んでいるという印象はなく、参考にならないと思う。
- ・横浜市青葉区の事例も検討の進め方という点では参考にはなると思う。ただし、対象区域が広いので、より小さな区域での成功事例が分かると良い。
- ・高齢者等の見守り活動では河原町の情報共有の取組等が参考になると思う。
- ・戸手中部町内会の九十九会（老人会）は、特徴的な活動をしている。
- ・町内会の加入数はわかるが、加入率が分からないので、情報提供してほしい。
- ・加入率の高い町内会、低い町内会それぞれでそうなっている要因があると思う。
- ・町内会ごとの人口と世帯数も知りたい。
- ・加入率の高い町内会の取組を把握することは重要である。
- ・議員提案による町内会・自治会に関する条例について知りたい。（事務局より関係資料1を机上配布）
- ・町内会は条例などで明確に位置づけるべき。マンションの場合、管理組合は法に基づく団体になっていることから、相対的に町内会より立場が強い傾向にある。
- ・子どもについての調査は、学校は情報を出してくれない。ヒアリング等の対象は、PTA、子ども会になる。
- ・子ども会は全ての子どもが加入しているわけではない。
- ・子どもの見守りについて、地域のニーズや地域での取組例等を聞いてほしい。
- ・地域包括支援センター（区内6か所）が困っていることが分かるとよい。地域ケア会議から課題等をうまく抽出できると良い。

【調査方法】

- ・地域包括ケアシステムについては資料で理解できると思う。
 - ・町内会・自治会については、アンケートを行い、特徴的な回答があった団体にヒアリングすれば良いのではないか。
- 第4期区民会議専門部会「みんなで見守りたい」で町内会・自治会に見守り活動

についてアンケートを行っている。(関係資料2を机上配布)(事務局)

- ・子どもについては、子ども会が集まる会議やPTA会長が集まる会議で聞くことができる。
- ・市内の49か所の地域包括支援センターが出席する会議(月に1回)がある。その会議に出席している地域包括ケア推進室にヒアリングできないか。
→地域包括ケア推進室は市全体を対象とする部署である。幸区でも地域包括支援センター(6か所)が集まり、定例会(月1回)を行っている。区内のことであれば区役所の方が詳細な情報を持っている。(事務局)

【次回までの調査の進め方】

- ・次回までに、老人クラブ、子ども会の中からヒアリングできる対象を絞ると良い。アンケートは時間がかかる。
→第4期区民会議専門部会「みんなで見守りたい」で町内会・自治会に対してアンケートを実施した後、特徴的な団体についてはヒアリングを実施しようとしたが、アンケートの回答以上の内容はないという回答が多かった。(事務局)
- ・ヒアリングを行う場合、参加できる委員全員と事務局で行った方が良い。

【今後の調査審議の進め方】

- ・まずは「加入のメリットが実感できる魅力ある町内会づくり」について調査審議したい。そうすれば、「町内会や民生委員など地域が連携し、高齢者、障害者、子どもを支えるための仕組みづくり」にもつながると思う。

【その他】

- ・老人会、子ども会が活発なところであれば、町内会は活発であると感じる。
- ・高齢者が子育てをケアできれば、働きに出られる女性も増えると思う。
- ・高齢者は増加しているのに、老人クラブの加入数は減っている。高齢者がこれまで培った知識を発揮すれば、支え合いの大きな力になる。
- ・高齢者も若いとおもっている人が多く、なかなか老人クラブに加入してくれない。
- ・そもそも老人という言葉の印象が良くない。
- ・私が所属する団体も高齢化で70代しかいない。70代の人たちが抜けてしまったら団体が成り立たない。

3 今後のスケジュールについて

- 資料6について事務局が説明した。
- 区民会議交流会(日時:平成27年2月9日(月)18:00～、場所:エポック中原)出席者プロフィールの年内提出を事務局から要請するとともに、懇親会の出席(松井委員のみ欠席)を確認した。
- 関係資料3について事務局が説明した。
- 次回部会は平成27年1月27日(火)18:30から開催する。